



Sun™ Management Center 3.5 バージョン 3 Sun Fire™ Midrange Systems ご使用にあたって

Sun Microsystems, Inc.
www.sun.com

Part No. 817-5621-10
2004 年 2 月, Revision A

コメントの宛先: <http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

Copyright 2004 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, CA 95054 U.S.A. All rights reserved.

米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) は、本書に記述されている製品に採用されている技術に関する知的所有権を有しています。これら知的所有権には、<http://www.sun.com/patents> に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

本書およびそれに付随する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人 日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun, Sun Microsystems, docs.sun.com, および Sun Fire は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標もしくは登録商標です。サンのロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOK8 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPENLOOK および Sun Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

Use, duplication, or disclosure by the U.S. Government is subject to restrictions set forth in the Sun Microsystems, Inc. license agreements and as provided in DFARS 227.7202-1(a) and 227.7202-3(a) (1995), DFARS 252.227-7013(c)(1)(ii) (Oct. 1998), FAR 12.212(a) (1995), FAR 52.227-19, or FAR 52.227-14 (ALT III), as applicable.

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われえないものとします。

本書には、技術的な誤りまたは誤植のある可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典: Sun Management Center 3.5 Version 3 Release Notes for Sun Fire Midrange Systems
Part No: 817-3627-10
Revision A



目次

ソフトウェアの変更点 1

全般的な情報 2

自動診断と回復機能から報告がない 2

ホットスワップ時の CLI コマンドの利用 2

必要なソフトウェアバージョン 3

アドオンソフトウェアの入手 4

マニュアルがある場所 4

判明している問題点 5

プラットフォームエージェントの物理表示に取り外したコンポーネントが残る (バグ ID 4970824) 5

プラットフォームエージェントのスロット監視の SC 表示で、ホットスワップアウトされたシステムコントローラが接続状態で表示される (バグ ID 4973201) 5

PCI/hPCI カードに対するホットスワップ操作後、動的再構成モジュールによってテーブルが更新されない (バグ ID 4974969) 6

SC テーブルに不正な値が表示される (バグ ID 4975830) 6

予備システムコントローラの電源切断後、SC テーブル内の SC の電源状態が更新されない (バグ ID 4976504) 6

Sun Management Center が電源装置の電源が切断された通知を受信しない (バグ ID 4976872) 7

ドメインの動的再構成の操作後、プラットフォーム管理のテーブルがすぐに更新されない (バグ ID 4979271) 7

プラットフォーム管理ドメイン X のキースイッチの表示操作で状態が正しく表示されない (バグ ID 4982790) 8

新しい SC ボードタイプで SC テーブルに不正な SC ボードタイプが表示される (バグ ID 4983881) 8

プラットフォーム管理のシャーシとドメイン X の Syslog Loghosts を削除、クリアできない (バグ ID 4984145) 8

プラットフォーム管理のシャーシとドメイン X のトラップホストを削除、クリアできない (バグ ID 4984162) 9

CLI コマンドで時間帯を変更したときに、プラットフォーム管理の「スロット SC」テーブルがすぐに更新されない (バグ ID 4984906) 9

プラットフォーム管理のスロット SC のネットワーク設定で、不正なネットワークマスクや IP アドレスが受け付けられる (バグ ID 4984961) 9

Sun Management Center 3.5 インストールウィザードでのアドオンソフトウェアのアップグレードに失敗する (バグ ID 4994230) 10

エージェント更新のステータスレポートは「Failed」であるが、実際には成功している (バグ ID 4994784) 10

マニュアルの記述の誤り 11

パッケージが属する基本階層として、パッケージ表に不正な階層が含まれている。 11

電源装置にない電源切断オプションが示されている (バグ ID 4979650) 11

「シャーシ」テーブルのシャーシの稼働時間がミリ秒単位で表示される (バグ ID 4983723) 12

「電源装置」テーブルに電源装置のドメインがない (バグ ID 4983868) 12

プラットフォーム管理のボードテストオプションが CPU ボードにしか使用できない (バグ ID 4984111) 12

「L2 リピータ」表の L2 リピータ名が RP x になっていない (バグ ID 4985851) 13

「ディスクデバイス」表の「ディスク名」プロパティの説明に誤りがある (バグ ID 4987337) 13

L2 リピータとファントレーのドメインの説明に誤りがある (バグ ID 4988664) 13

Sun Management Center 3.5 バージョン 3 Sun Fire Midrange Systems ご使用にあたって

このマニュアルには、Sun Fire Midrange Systems 用の Sun Management Center 3.5 バージョン 3 に関する情報が含まれています。このマニュアルは次の節から構成されています。

- 1 ページの「ソフトウェアの変更点」
 - 3 ページの「必要なソフトウェアバージョン」
 - 4 ページの「アドオンソフトウェアの入手」
 - 4 ページの「マニュアルがある場所」
 - 5 ページの「判明している問題点」
-

ソフトウェアの変更点

この節では、Sun Management Center 3.5 ソフトウェアと、今回のバージョン 3 リリースの Sun Fire Midrange Systems 用 Sun Management Center 3.5 アドオンソフトウェアとの間の相違点を説明します。

- PCI+ (peripheral component interconnect plus) 入出力ボードのサポートを追加
- UltraSPARC IV 中央演算処理装置 (CPU) のサポートを追加
- Sun Fire Midrange Systems ファミリの新しい 2 つのモデルのサポートを追加。
E6900 and E4900. 今回のリリースでサポートされているモデル番号は、以下のとおりです。
 - E6900
 - E4900
 - 6800
 - 4800
 - 4810

- 3800
- すべてのモデル番号を列記するのではなく、包括的な「Sun Fire Midrange Systems」へとシステム名称を変更

Sun Fire Midrange Systems 用 Sun Management Center 3.5 バージョン 3 アドオンソフトウェアの性能に影響する可能性があるさまざまな条件についての詳細は、『Sun Fire Midrange Systems Firmware 5.16.0 Release Notes』をご覧ください。

全般的な情報

この節では、今回のバージョン 3 リリースの Sun Fire Midrange Systems 用 Sun Management Center 3.5 アドオンソフトウェアの全般的な情報を提供します。

自動診断と回復機能から報告がない

『Sun Fire Midrange Systems Platform Administration Manual』および『Sun Fire Midrange System Controller Command Reference Manual』のファームウェアリリース 5.15 以降に関する説明と異なり、Sun Management Center は、ファームウェアが提供する自動診断および回復機能から報告された障害イベント情報を報告しません。

ホットスワップ時の CLI コマンドの利用

ホットスワップ操作では、Sun Fire Midrange Systems 用 Sun Management Center 3.5 バージョン 3 アドオンソフトウェアではなく、コマンド行インタフェース (CLI) コマンドを使用してください。Sun Fire Midrange Systems におけるホットスワップ操作の詳細は、最新の『Sun Fire ミッドレンジシステム Dynamic Reconfiguration ユーザマニュアル』、『Sun Fire Midrange System Controller Command Reference Manual』、および『Sun Fire E6900 および E4900 (または 6800/4810/4800/3800) システムサービスマニュアル』をご覧ください。

必要なソフトウェアバージョン

表 1 は、Sun Fire Midrange Systems 用 Sun Management Center 3.5 バージョン 3 アドオンソフトウェアに必要なソフトウェアバージョンをまとめています。

表 1 必要なソフトウェアバージョン

| ホスト | 必要なソフトウェア | バージョン |
|--------------------------------------|--|------------------------------------|
| サーバーマシン | Solaris オペレーティング環境 | 8 2/02 および 9 12/03 以降 |
| | Sun Management Center ベースソフトウェア | 3.5 |
| | Sun Fire Midrange Systems 用 Sun Management Center アドオンソフトウェア | 3.5 バージョン 3 |
| システムコントローラ | RTOS (Real-Time Operating System) | 36 以降 |
| | Sun Fire Midrange Systems ファームウェア | 5.16.0 以降 |
| Sun Fire Midrange Systems ドメイン | Solaris オペレーティング環境 | 8 2/02 および 9 12/03 ¹ 以降 |
| | Sun Management Center ベースソフトウェア | 3.5 |
| | Sun Fire Midrange Systems 用 Sun Management Center アドオンソフトウェア | 3.5 バージョン 3 |
| ワークステーションまたはネットワーク上の共通の場所 (コンソール階層用) | Solaris オペレーティング環境 | 2.6, 7, 8, 9 |
| | Sun Management Center ベースソフトウェア | 3.5 |

1. Sun Fire Midrange Systems に UltraSPARC IV プロセッサを搭載したユニボードが存在する場合、Solaris オペレーティング環境は少なくとも Solaris 8 2/04 か Solaris 9 4/04 である必要があります。

注 – Sun Management Center サーバーおよびエージェントマシンには、同じバージョンのアドオンソフトウェアが必要です。

アドオンソフトウェアの入手

Sun Fire Midrange Systems 用 Sun Management Center 3.5 バージョン 3 アドオンソフトウェアパッケージとマニュアルは、以下のソフトウェアダウンロードサイトに、SunManagementCenter_3_5_SunFire_Supplements_V3 という名前の zip ファイルで提供されています。

<http://www.sun.com/software/download/index.html>

「New Downloads」欄に「Sun Management Center 3.5, Enterprise Systems Products Sun Fire Supplements - Version 3」のリストが見あたらない場合は、以下のことを行ってください。

1. 「A-Z Index of All Products」をクリックします。
2. 「S」をクリックします。
3. 下方方向にスクロールして、「Sun Management Center 3.5, Enterprise Systems Products Sun Fire Supplements - Version 3」を探し、クリックします。
4. 「Download」をクリックします。
5. 「Download Center」にログインします。
6. 「Accept」をクリックしてライセンス契約に同意し、「Continue」をクリックします。
7. ダウンロードページの指示にしたがって操作します。

マニュアルがある場所

英語および各言語対応のマニュアルは、ダウンロードした zip ファイルの以下のディレクトリにあります。

[/disk2/image/Additional_Addon_Docs/](#)

判明している問題点

この節では、Sun Fire Midrange Systems 用 Sun Management Center 3.5 バージョン 3 アドオンソフトウェアの今回のリリースで判明したか、その運用に影響すると思われるソフトウェアの問題点を説明します。

プラットフォームエージェントの物理表示に取り外したコンポーネントが残る (バグ ID 4970824)

中央演算処理装置 / メモリー (CPU/MEM) ボードや入出力 (I/O) ボード、電源装置、ファントレー、システムコントローラ、L2 リピータの動的再構成 (DR)、割り当て解除、取り外しが正しく行われると、プラットフォームエージェントの物理表示に、シャーシ内のコンポーネントの画像が表示されたままになります。このとき、ウィンドウの右側に表示されている監視対象属性のどれにも -- が表示されます。

回避策：「詳細」ウィンドウをいったん閉じて、開きなおしてください。

プラットフォームエージェントのスロット監視の SC 表示で、ホットスワップアウトされたシステムコントローラが接続状態で表示される (バグ ID 4973201)

プラットフォームエージェントのスロットのシステムコントローラ (SC) 表示やハードウェアプラットフォームの物理および論理表示で、ホットスワップアウトされたシステムコントローラが接続した状態で表示されます。

回避策：

1. プラットフォームエージェントを再起動します。
2. 次の再表示サイクルを待ちます (約 30 分)。
3. システムコントローラのコマンド行インタフェース (CLI) から、Sun Management Center コンソールを再表示する任意のコマンドを実行します。

PCI/hPCI カードに対するホットスワップ操作後、動的再構成モジュールによってテーブルが更新されない (バグ ID 4974969)

Sun Fire Link PCI (WPCI) ボード上のコンパクト PCI/ ホットスワップ PCI (cPCI/hPCI) カードに対するホットスワップ操作後、動的再構成モジュールによってテーブルが正しく更新されません。カードを取り外した後、「接続ポイント」->「cPCI/hPCI」テーブルに、引き続きカードが表示されます。この逆にカードを挿入しても、「接続ポイント」->「cPCI/hPCI」テーブルにカードが表示されません。

回避策：

1. ドメインエージェントを再起動します。
2. 次の再表示サイクルを待ちます (約 30 分)。
3. システムコントローラのコマンド行インタフェース (CLI) から、Sun Management Center コンソールを再表示する任意のコマンドを実行します。

SC テーブルに不正な値が表示される (バグ ID 4975830)

「ハードウェア」->「プラットフォーム管理」->「プラットフォーム」->「スロット」の「SC」テーブルの以下の属性に不正な値が表示されます。

- SC の IP アドレス : 0.0.0.0
- SC のネットマスク : 0.0.0.0
- 主 SC の SC 接続数 : 1
- 予備 SC の SC 接続数 : -1

回避策：なし

予備システムコントローラの電源切断後、SC テーブル内の SC の電源状態が更新されない (バグ ID 4976504)

予備システムコントローラの電源を切断したにもかかわらず、「ハードウェア」->「プラットフォーム管理」->「プラットフォーム」->「スロット」の「SC」テーブルの「SC の電源状態」プロパティに電源がオンと表示されます。

回避策：

1. プラットフォームエージェントを再起動します。
2. 次の再表示サイクルを待ちます (約 30 分)。
3. システムコントローラのコマンド行インタフェース (CLI) から、Sun Management Center コンソールを再表示する任意のコマンドを実行します。

Sun Management Center が電源装置の電源が切断された通知を受信しない (バグ ID 4976872)

電源装置の電源が切断されたとき、Sun Management Center にそのことは通知されません。このため、電源装置の「状態」プロパティは PoweredOn のままになります。

回避策：

1. プラットフォームエージェントを再起動します。
2. 次の再表示サイクルを待ちます (約 30 分)。
3. システムコントローラのコマンド行インタフェース (CLI) から、Sun Management Center コンソールを再表示する任意のコマンドを実行します。

ドメインの動的再構成の操作後、プラットフォーム管理のテーブルがすぐに更新されない (バグ ID 4979271)

システムボードの電源切断などの、ドメインの動的再構成 (DR) 操作が正常終了したときに、Sun Management Center のプラットフォーム管理のテーブルがすぐに更新されません (「バグ ID 4976872」を参照)。

回避策：

1. プラットフォームエージェントを再起動します。
2. 次の再表示サイクルを待ちます (約 30 分)。
3. システムコントローラのコマンド行インタフェース (CLI) から、Sun Management Center コンソールを再表示する任意の DR コマンドを実行します。

プラットフォーム管理ドメイン X のキースイッチの表示操作で状態が正しく表示されない (バグ ID 4982790)

「プラットフォーム管理ドメイン」テーブルに、ドメインのキースイッチの位置が正しく表示されないことがあります。

回避策：

1. 「ドメイン」テーブルを右クリックして、「再表示」ボタンをクリックします。ドメインのキースイッチ値が更新されます。
2. プラットフォーム管理の別のテーブルに切り替え、「ドメイン」テーブルに戻ります。ドメインのキースイッチ値が更新されます。

新しい SC ボードタイプで SC テーブルに不正な SC ボードタイプが表示される (バグ ID 4983881)

Sun Management Center は、SC のバージョンに関係なく、どのシステムコントローラ (SC) ボードも、タイプを SC と表示します。

回避策：showboards CLI コマンドを使用して、適切な SC バージョン番号を表示してください。showboards コマンドの詳細は、『Sun Fire Midrange System Controller Command Reference Manual』を参照してください。

プラットフォーム管理のシャーシとドメイン X の Syslog Loghosts を削除、クリアできない (バグ ID 4984145)

プラットフォーム管理のシャーシとドメイン X の「ログホストの設定」ダイアログボックスから、Syslog Loghosts エントリを削除、クリアできません。Syslog Loghosts エントリを削除またはクリアしようとしても、何も警告が表示されずに、データがそのまま残ります。

回避策：なし

プラットフォーム管理のシャーシとドメイン X の トラップホストを削除、クリアできない (バグ ID 4984162)

プラットフォーム管理のシャーシとドメイン X の「ログホストの設定」ダイアログボックスから、Simple Network Management Protocol (SNMP) Trap Host エントリを削除、クリアできません。このとき、何の警告も表示されません。



注意 – SNMP トラップホストが設定されていない場合、Sun Management Center は正しく機能しません。

回避策： SNMP Trap Host エントリを削除したり、クリアしないでください。

CLI コマンドで時間帯を変更したときに、プラットフォーム管理の「スロット SC」テーブルがすぐに更新されない (バグ ID 4984906)

Sun Management Center は、SC の時間帯が変更されても、プラットフォーム管理の「スロット SC」テーブルを自動的に更新しない設計になっています。SC の「時間帯」プロパティは、次の再表示サイクルで更新されます。

回避策：

1. プラットフォームエージェントを再起動します。
2. 次の再表示サイクルを待ちます (約 30 分)。

プラットフォーム管理のスロット SC のネットワーク設定で、不正なネットワークマスクや IP アドレスが受け付けられる (バグ ID 4984961)

Sun Management Center は、SC の「ネットワーク設定」ダイアログボックスで入力されたネットマスクや IP アドレスの妥当性を検査しません。

回避策：

1. ネットワーク設定の更新情報を送信する前にネットマスクおよび IP アドレスに誤りがないか確認してください。

2. telenet セッションを開いて、showplatform CLI コマンドを実行することによって、SC を調べてください。

Sun Management Center 3.5 インストールウィザードでのアドオンソフトウェアのアップグレードに失敗する (バグID 4994230)

Sun Management Center 3.5 ベースソフトウェアと Sun Fire Midrange Systems アドオンソフトウェアの、エージェントとサーバの両方の階層をインストールし、後に、es-guiinst コマンドによる GUI インストールで Sun Fire Midrange Systems アドオンソフトウェアのアップグレードを試みると、「ディスク領域が不十分」であるという誤ったエラーメッセージが表示され、インストールに失敗します。

回避策：

1. アップグレードを行う際は、コマンド行インタフェース (CLI) コマンド es-inst を使用します。
2. まず、グラフィカルユーザーインタフェース (GUI) コマンド es-guiuninst を使用して、以前のアドオン製品をアンインストールし、その後に GUI コマンド es-guiinst を使用して新しいアドオンソフトウェアをインストールします。

エージェント更新のステータスレポートは「Failed」であるが、実際には成功している (バグID 4994784)

Sun Fire Midrange Systems ドメインでエージェント更新を行った後、「ジョブの管理」でのステータスは「Failed」と報告されますが、実際にはエージェント更新は実行されています。

回避策：「ジョブの管理」のステータスは無視して、そのドメインのエージェント更新のログファイル (var/opt/SunWsymon/log/agent-update.log) で、正しい状態を確認します。

マニュアルの記述の誤り

ここでは、Sun Fire Midrange Systems 用 Sun Management Center 3.5 バージョン 3 アドオンソフトウェアの今回のリリースで判明した、その運用に影響すると思われるマニュアルの記述の誤りを説明しています。

パッケージが属する基本階層として、パッケージ表に不正な階層が含まれている。

『Sun Management Center 3.5 バージョン 3 Sun Fire Midrange Systems のための追補マニュアル』の 14 ページの、Sun Fire Midrange Systems 用 Sun Management Center パッケージに関する表 2-1 に記載されている、一部パッケージが属する基本階層が間違っています。対応するパッケージの基本階層は正しく以下のとおりであり、表 2-1 の記載と差し替えてください。

| パッケージ | 階層 |
|-----------|------------------|
| SUNWesspc | サーバ、コンソール |
| SUNWessps | サーバ |
| SUNWensda | サーバ、エージェント |
| SUNWenspa | サーバ、エージェント、コンソール |
| SUNWesccd | サーバ、コンソール |
| SUNWesccp | サーバ、コンソール |
| SUNWescdf | サーバ、コンソール |

電源装置にない電源切断オプションが示されている (バグ ID 4979650)

プラットフォーム管理モジュールのメニューには、電源装置の電源切断オプションがありません。これが正しいのですが、『Sun Management Center 3.5 バージョン 3 Sun Fire Midrange Systems のための追補マニュアル』の 98 ページの表 3-29 に、電源装置の電源を切断できるという記述がありますが、これは誤りです。Sun Management Center コンソールから電源装置の電源を切断することはできません。

「シャーシ」テーブルのシャーシの稼働時間がミリ秒単位で表示される (バグ ID 4983723)

『Sun Management Center 3.5 バージョン 3 Sun Fire Midrange Systems のための追補マニュアル』の 82 ページのプラットフォームのシャーシに関する表 3-14 の「シャーシの稼働時間」プロパティの説明は、正しくは以下のとおりです。

「シャーシが稼働している経過時間をミリ秒 (ms) 単位で示す」

「電源装置」テーブルに電源装置のドメインがない (バグ ID 4983868)

『Sun Management Center 3.5 バージョン 3 Sun Fire Midrange Systems のための追補マニュアル』の 89 ページのプラットフォームの電源装置に関する表 3-20 に「電源装置のドメイン」プロパティが記載されていませんでした。このプロパティは、「電源装置のテスト状態」と「スロット状態」プロパティの間に入ります。プロパティの説明は以下のようにになります。

「電源装置をドメインに割り当てることはできないため、Isolated (未割り当て) を示す」

プラットフォーム管理のボードテストオプションが CPU ボードにしか使用できない (バグ ID 4984111)

『Sun Management Center 3.5 バージョン 3 Sun Fire Midrange Systems のための追補マニュアル』には、この問題に関係する部分が 3 カ所あります。

- 98 ページの表 3-29 には、CPU ボードをテストできる旨の記述はありますが、入出力ボードをテストできる旨の記述はありません。この表の記述は正確です。
- 99 ページの表 3-30 の「テスト」の後に、この操作によってテストできるのは CPU ボードのみであるという記述を追加してください。
- 102 ページの「ボードをテストする」の下に、注として、テストできるのは CPU ボードのみであるという記述を追加してください。

「L2 リピータ」表の L2 リピータ名が RP x になっていない (バグ ID 4985851)

『Sun Management Center 3.5 バージョン 3 Sun Fire Midrange Systems のための追補マニュアル』の 87 ページの、プラットフォームのスロットの L2 リピータに関する表 3-18 の L2 リピータ名の説明に誤りがあります。正しくは、リピータ名は RP0 x ではなく、RP x で、 x はリピータがあるスロット番号です。

「ディスクデバイス」表の「ディスク名」プロパティの説明に誤りがある (バグ ID 4987337)

『Sun Management Center 3.5 バージョン 3 Sun Fire Midrange Systems のための追補マニュアル』の 137 ページの、ドメインのディスクデバイスに関する表 4-9 中の「ディスク名」プロパティの説明に誤りがあります。正しくは、「ディスク名」の説明は以下ようになります。

「c1t0d0、c2t0d0 というようにバスコントローラ名と組み合わせてディスク名を示す」

L2 リピータとファントレーのドメインの説明に誤りがある (バグ ID 4988664)

- 『Sun Management Center 3.5 バージョン 3 Sun Fire Midrange Systems のための追補マニュアル』の 87 ページの、プラットフォームのスロットの L2 リピータに関する表 3-18 中の、L2 リピータのドメインの説明は正しくは以下ようになります。

「L2 リピータをドメインに割り当てることはできないため、Isolated (未割り当て) を示す」

- 『Sun Management Center 3.5 バージョン 3 Sun Fire Midrange Systems のための追補マニュアル』の 88 ページの、プラットフォームスロットのファントレーに関する表 3-19 中の、ファンのドメインの説明は正しくは以下ようになります。

「ファントレーをドメインに割り当てることはできないため、Isolated (未割り当て) を示す」

